

皇太子殿下・同妃殿下・浩宮殿下 地質標本館御視察

企画室

皇太子ご夫妻 浩宮様の3殿下は 6月8日(水)地質調査所の地質標本館をご視察された。限られた時間ではあったが 陶山淳治所長の案内で 地質調査所の概要説明をうけられた後 日本列島周辺の震源分布モデル ジュラ紀層の褶曲構造模型 日本列島大型地質模型 デスモスチルス化石標本 深海底マンガン団塊 日本国内産各地の岩石 鉱物 化石標本などを広くごらんになられた。

皇太子殿下を中心に多くの質問が出され とくに日本列島大型地質模型を前にして 日本列島を東西に分けるフォッサ・マグナの性格 それとアフリカのリフトバレーとの相違 中央構造線に沿う動きの方向 伊豆半島北上衝突説の根拠など きわめて専門的な内容についておたずねになられた。

鉱物については 日本式双晶と一般水晶の出来方の違い 菱マンガン鉱と形が似ている砂漠のバラとの相違についてご質問され 実物を前にご自身でおたしかめになられた。浩宮様も デスモスチルスの足の水かきの有無など きわめて高度なご質問を寄せられた。

皇太子ご夫妻 浩宮様は 地質標本館のご視察を十分に楽しまれたことと思われる。



写真1 日本列島大型地質模型を前に説明をうけられる皇太子ご夫妻と浩宮様



写真2 菱マンガン鉱 含銅硫化鉄鉱石を前に鉱物の説明をうけられる皇太子ご夫妻と浩宮様